

平成29年度担い手農業者等との意見交換会の結果

開催日	概要	主な意見	主な意見への対応
平成29年 4月19日	農業法人セミナー (都城市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人で集約していくのも大事であるが、畜産農家も含めて話し合いを行う必要がある。</li> <li>・農地の情報をどれだけ集められるか、農業委員に頑張ってもらいたい。</li> <li>・所有者からは、貸すよりも売りたいとの要望が多い。</li> <li>・水田を借りたいが、湿田なので借りられない。何か事業はないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産農家や所有者も含めて地域での話し合いを行うよう要請。</li> <li>・農業委員会制度の改正を踏まえ更なる農業委員会との連携に努める。</li> <li>・機構では、売買事業も扱っており、手数料が軽減されるなどのメリットがあるため活用を要請。</li> <li>・農地中間管理事業と基盤整備事業との一体的な推進について要請。</li> </ul>
平成29年 6月13日	農地の集積・集約 化検討会(都城市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者の同意が一番大事である。まずは、全所有者に対して同意を得るべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進チームにおいて連携して対応する。</li> </ul>
平成29年 6月28日	農地の集積・集約 化検討会(都城市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石の出る農地があるが、このような農地はどうすればよいのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地耕作条件改善事業等の補助事業を活用するなど農地中間管理事業と一体的な活用についての検討を要請。</li> </ul>
平成29年 7月12日	機構活用地区における 集落営農研修会(高千穂町)	特に意見等なし	
平成29年 7月24日	農地の集積・集約 化検討会(都城市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農業を目指しているため、農薬を使用している農地とはシャッフルしたくない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャッフルのモデル地区において、栽培履歴や排水、地力等を記載した農地カルテの作成に着手しており、今後、話し合いの場において農地カルテを提示し、シャッフル案作成の参考にする計画。</li> </ul>
平成29年 8月4日	冷凍野菜加工事業者 連携推進協議会 会員企業との意見 交換会(綾町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地中間管理事業を行うことで、補助事業等において優遇されるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集積協力金、機械導入、基盤整備事業等の採択要件やポイント加算の措置があることを説明。</li> </ul>
平成29年 8月30日	農地中間管理事業 に関する意見交換 会(日南市・串間 市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内で賃料が揃っていない。賃料の統一が難しい。</li> <li>・市内に樹園地があるが、機構活用が進められていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来のシャッフル時には、賃料が統一されている方が望ましい。地域において、賃料のあり方についての話し合いを要請。</li> <li>・果樹経営対策支援事業において機構を活用した場合のメリット等について説明し、機構活用及び果樹経営対策支援事業の活用を要請。</li> </ul>

平成29年度担い手農業者等との意見交換会の結果

開催日	概要	主な意見	主な意見への対応
平成29年 9月19日	果樹産地における 担い手との意見交 換会(西米良村)	・貸借ではなく農地を売りたい方も 出てくると思う。	・機構では、売買事業も扱ってお り、手数料が軽減されるなどのメ リットがあるため活用を要請。
平成29年 11月7日	農地の集積・集約 化検討会(小林市)	・鳥獣被害が多く農地を集積しても 耕作できない。  ・貸借だけでなく売買も行わないと 農地の集積には限界がある。  ・意欲のある担い手のためにも シャッフル(集約に向けた再配分) しないと次に繋がらない。	・農地耕作条件改善事業等の補助 事業を活用するなど農地中間管理 事業と一体的な活用についての検 討を要請。  ・機構では、売買事業も扱ってお り、手数料が軽減されるなどのメ リットがあるため活用を要請。  ・機構が貸し付けた農地のシャッフル における課題や対応等を整理す ることで地域における話し合いを 手助けし、スムーズなシャッフルを 行うことを目的にモデル地区を県 内に4地区選定しシャッフルの検 討を行っている。
平成29年 11月8日	農地の集積・集約 化検討会(木城町)	・地域の担い手が少ない。担い手 対策が必要である。	・引続き、関係機関・団体と連携し 農地集積と合わせて担い手の育 成・確保に努める。
平成29年 11月21日	農地の集積・集約 化検討会(都城市)	・農地中間管理事業を実施するこ とで、補助事業が活用できるという メリットを知らない人が多いのでは ないか。	・農地中間管理事業が要件やポイ ント加算される補助事業について、 パンフレット等で引き続き周知に努 める。
平成29年 11月22日	農地の集積・集約 化検討会(都城市)	・農地の境界が不明な地域では、 境界の復元が簡単には出来ない。  ・農地をシャッフルするためには、 賃料の統一化が必要である。  ・農地をシャッフルするためには、 農地の情報(地力、排水、石礫の 有無)が必要である。	・所有者において境界を明示する 必要がある。  ・地域で話し合いを行うための参 考として、農業委員会と連携して地 域の平均賃料を提示するなど検討 したい。  ・シャッフルのモデル地区におい て、栽培履歴や排水、地力等を記 載した農地カルテの作成に着手し ており、今後、話し合いの場におい て農地カルテを提示し、シャッフル 案作成の参考にす計画。
平成29年 12月8日	農地の集積・集約 化検討会(都城市)	・農地の境界が不明な地域では、 境界の復元が簡単には出来ない。	・所有者において境界を明示する 必要がある。
平成29年 12月21日	農地の集積・集約 化検討会(都城市)	・農地をシャッフルするためには、 賃料の統一化が必要である。	・地域で話し合いを行うための参 考として、農業委員会と連携して地 域の平均賃料を提示するなど検討 したい。

平成29年度担い手農業者等との意見交換会の結果

開催日	概要	主な意見	主な意見への対応
平成29年 12月21日	農地の集積・集約 化検討会(木城町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地のシャッフルは、耕作者よりも所有者の意向確認が重要であり、所有者が理解を示さないとシャッフルできない。</li> <li>・農地への愛着がありシャッフルできるか不安。</li> <li>・畑は、他の担い手が裏作を行っており、農地中間管理事業の推進は難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機構が貸し付けた農地のシャッフルにおける課題や対応等を整理することで地域における話し合いを手助けし、スムーズなシャッフルを行うことを目的にモデル地区を県内に4地区選定しシャッフルの検討を行っている。</li> </ul>